

本ガイドラインの内容は、令和2年7月1日から当面の間とし、今後、段階的に見直しを行うものとする

1. 基本的な感染拡大予防策

○職員及び入居団体職員の就業前の体温測定、手指消毒の徹底、マスクの着用

○施設内の手指の消毒設備の設置

○入館者に対するマスク着用周知

(1) 感染症防止のための入館整理の方法

①密にならないための対策

・館内が混雑しないよう、必要に応じて入館制限を実施する。

②発熱等の症状のある方の入館制限

・発熱（37.5度以上または平熱比1度超過）や咳、頭痛等の症状がある方については、原則お断りする。

③その他

・館内に体温計を設置し、必要に応じて計測するよう協力を求める。

・適宜来館者へ感染拡大予防のアナウンスをする。

(2) 対人距離の確保の方法

①接触感染対策

・席は対面にならないよう配置を工夫し人と人との間隔はできるだけ（最低1m）空ける。

②飛沫感染対策

・カウンターなどで席が対面となる場合、透明ビニールカーテン等で遮蔽する。

(3) 施設の換気対策

・常時、窓は二カ所（二方向）以上開けておく。

・使用時間中は出入り扉や窓を開け換気を行う。（冷房使用時は1時間毎に換気を10分行う。）

(4) 施設・設備・物品等の消毒対策

・複数の人が触れる場所は適宜消毒を行い、テーブル、イス、ドアノブ、手すり、スイッチなどの高頻度に接触する箇所は、特に注意して消毒を行う。

・館内全体への消毒は1日1回実施する。

(5) その他基本的な感染拡大予防策

・ハンドドライヤーは停止。（各自タオル・ハンカチ持参）

・トイレのふたを閉めて汚物を流すよう表示。

・使用後のマスクは、各自で持ち帰る。

2. 独自の感染予防対策

(1) 貸館・催事に使用する施設は3密を回避するために定員の1/2以下の人数に制限する。カナイホールは当面の間、客席収容人数を180人以内とし、座席は最低1mの間隔をあけ設置。

（原則として指定席）

(2) 人の密度を下げるために、長机1台につき、一人など、席の配置を制限する。

(3) 対人距離を確保して活動する。（できるだけ四方2mを空けることを目安に）なるべく対面方式は避ける。

- (4) 館内利用者の感染及び安全を考慮し、利用時間は1回あたり2時間以内とする。
ただし、館長が特に必要と認めた場合はこの限りではない。
- (5) 大声での発声、歌唱や声援、又は近接した距離での会話を原則行わない。
- (6) 入館者に対して、ゴミを持ち帰るよう促す。
- (7) 直近2週間以内に渡航歴（国外・県外）がある方はご利用できません。
- (8) 万が一感染が発生した場合に備え、参加者名簿を毎回記載し、記載したものは各利用団体の代表者が1ヶ月保管する。個人情報の取り扱いは、法令を遵守するとともに名簿等の適正な管理を行う。また、必要がある場合は、保健所等の公的機関へ情報提供。来場者へも情報提供されることを事前に周知する。
- (9) 利用前に感染防止対策チェックリストを確認し、対策を講じる。
- (10) 利用後の会話は控え、できるだけ速やかに退館する。
- (11) ロビー等の共有スペースの滞在は必要最小限にする。
- (12) 貸館利用者は利用後に接触した箇所の消毒を行う。
- (13) カナイホールの利用にあたっては「1. 基本的な感染拡大予防策」をより一層徹底する。

3. カナイホール使用者が講じるべき具体的な対策

- (1) カナイホールのガイドラインに沿って運営する。下記にカナイホール使用に際した予防対策を明確に記す。
- (2) 申請者（イベント主催者）が講じる対策
 - ①カナイホール使用にあたり、感染症対策チェックリスト（別紙1）を提出する。
 - ②公演関係者（主催者・出演者・来客者）への感染予防対策の周知
※広告物への記載等（高齢者や基礎疾患を有する者へのイベント参加に対する体調管理含む）
 - ③入場券を配布する際に、来場者の情報を管理
※氏名・電話番号等 ※カナイホールガイドライン2.（8）に準じる
 - ④利用施設内に予防対策の張り紙を掲示する（マスク着用や手指消毒・三密について等）
 - ⑤出演者における予防対策の協議・調整
※出演者人数、出演演目に関する飛沫・接触感染の予防について対策協議を行う
※出演者同士の感染予防対策を講じる ※カナイホールガイドライン3.（3）に準じる
 - ⑥控室や舞台・客席の予防対策を講じる
 - (控室)
 - ・各控室に手指消毒液を設置
 - ・こまめに換気や除菌作業・ゴミ出しを行う
 - ・食事は、人数分を準備する
 - ※接触感染防止とし、おにぎりやペットボトル等の個別の飲食物
 - (舞台)
 - ・設備・物品の消毒（譜面台やイス・テーブル等）
 - ・演舞者へ、舞台裏でのスタンバイ時の飛沫感染防止の協力（おしゃべり等）
 - ※舞台上での演舞の際の囃子等は、距離の確保を講じ可とする。

(客席・受付・トイレ・販売ブース等)

- ・来場者の体温測定
- ・入場制限を行う（発熱・体調不良者への入場お断り）
- ・来場者のソーシャルディスタンス（最低1m）を講じた席の設置や・並列等を行う
- ・来場者の開場時・閉演時の移動への呼びかけ（密にならないように案内）
- ・接触感染防止として、チケットもぎりの簡略化、パンフレットやアンケート等は座席に設置、ペンシル・アンケート類は、来場者自身に回収箱に投函等、行う
- ・開催前後の施設及び設備の消毒作業の徹底
- ・現金の取り扱いを減らすような工夫をする。（キャッシュレス決済等）
- ・現金受取、物品の受け渡しの際は、こまめに手指消毒を行う。

(3) 出演者が講じる対策

①公演日2週間前からの体温を記録し、発熱等の体調不良者は出演しない

②公演当日の体温測定及び体調の申告（主催者が出演者の体調を確認する）

③控室での予防対策

- ・密を防ぐため、各部屋、収容人数に合わせる（控室各7人・練習室13人）
- ・基本マスク着用

※出演スタンバイからマスクをはずして良いが、飛沫感染を最大限に減らす為、おしゃべり等は控える。

- ・手指消毒を行う（消毒液は主催者が準備する）
- ・食事を行う際は、対面しない

④演舞において使用する物品等は各自で消毒を行う（小道具類など）

(4) 来場者（観客）が講じる対策

①公演当日の来館前に体温測定及び体調管理 ※ガイドライン1.(2)に準じる

②マスク着用

③来場時に体温測定（主催者が確認する）

④指定席にて鑑賞

⑤アンケート・ペンシルは、各自で回収箱に投函

(5) 感染拡大化等における対策

沖縄県内での感染症における第二波等、感染拡大化等が生じ、公演関係者の安全確保が困難と判断した場合は、開催中止とする旨を広告物へ事前周知として記載する

4. ギャラリー北谷使用者が講じるべき具体的な対策

(1) カナイホール・ギャラリー北谷のガイドラインに沿って運営する。下記にギャラリー北谷の予防対策を明確に記す。

①イベント主催者は、感染症対策チェックリスト（別紙2）を提出する

②ギャラリー内は、風通しの良い状態でレイアウトし、換気をこまめに行う。

※ガイドライン1. (3) に準じる)

③ギャラリー内は、準備・鑑賞時は密集を防ぐ（距離を最低1m）

④飛沫感染を防ぐため声を出す機会を最低限にし、接触感染を防ぐため作品等に触れない

⑤アンケート回収等は、お客様自身により回収箱等に投函させる。

⑥使用した施設の設備・備品等の消毒を行う ※ガイドライン1. (4) に準じる

⑦物品販売について

・現金の取り扱いを減らすような工夫をする。 *キャッシュレス決済等

・現金受取、物品の受け渡しの際は、こまめに手指消毒を行う。

5. その他

申請者（イベント主催者）が、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防ガイドライン」を遵守しなかった場合、管理者（ちゃたんニライセンター生涯学習プラザ）は、今後の施設使用を許可しない。また、当イベントにおいてガイドラインを遵守せずに、クラスターが発生した場合、主催者が責任を持って対応する。

【カナイホール】新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト

ちやたんニライセンター

館長 伊波興繁 様

【使用申請者】

団体名

代表者名

住 所

電 話

使用日 令和 年 月 日 () ~ 月 日 ()

催物の名称

使用施設名 カナイホール 控室 1 控室 2 練習室 ギャラリー北谷

新型コロナウイルス感染症の集団感染防止の為、以下の条件を厳守します。

- 来場者同士が密集しないよう、最低 1 m の間隔をあけた座席設置や並列等を行います
- 飛沫感染を防ぐため、声を出す機会を最低限にし、主催者・出演者・来場者全員がマスクを着用します
- イベントの開始と終了時には、来場者全員に手指消毒を行います（消毒液は主催者にて準備します）
- 施設使用時は、窓、扉を開け必ず換気を行います。（冷房使用時は 1 時間毎に換気を 10 分行う）
- 主催者・出演者・来場者全員の体調を確認し、体調のすぐれない者は参加させません。
- 使用する施設内の設備や備品等の消毒を、こまめに行います。（ドアノブやテーブル等の除菌）
- 万が一感染者が出た場合に備え、主催者・出演者・来場者全員の参加者名簿「氏名・連絡先」を控え、
また必要な場合は、保健所等の公的機関へ情報提供されることを事前に周知し、個人情報の取扱い管理
を徹底します。

受領日 令和 年 月 日

※このチェックリストは、原本を施設管理者が保管し、コピーを申請者が保管します。

【ギャラリー北谷】新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト

ちやたんニライセンター

館長 伊波興繁 様

【使用申請者】

団体名

代表者名

住 所

電 話

使用日	令和	年	月	日 () ~	月	日 ()
催物の名称						
使用施設名	<input type="checkbox"/> ギャラリー北谷					

新型コロナウイルス感染症の集団感染防止の為、以下の条件を厳守します。

- 来場者同士が密集しないように、人と人との間隔を最低 1m あけて頂きます。
- 飛沫感染を防ぐため、声を出す機会を最低限にし、主催者・来場者全員がマスクを着用します。
- 展示会等の出入りの際、来場者全員に手指消毒を行います。(消毒液は主催者にて準備します。)
- 施設使用時は窓、扉を開け必ず換気を行います。(冷房使用時は 1 時間毎に換気を 10 分行う。)
- 主催者・来場者全員の体調を確認し、体調のすぐれない者は参加させません。
- 使用する施設内の設備や備品等の消毒をこまめに行います。(テーブル等の除菌)
- 万が一感染者が出た場合に備え、主催者・来場者全員の参加者名簿「氏名・連絡先」を控え、また必要がある場合は、保健所等の公的機関へ情報提供されることを事前に周知し、個人情報の取扱い管理を徹底します。

受領日 令和 年 月 日

※このチェックリストは、原本を施設管理者が保管し、コピーを申請者が保管します。